

数学 出題意図

出題のねらい

この試験のねらいは、高校数学の基本である「数学Ⅰ・数学A」における基礎がしっかりとできているかを測ることです。

出題は大問3題から構成されており、大問Ⅰでは、基本的な設問が複数の分野にわたって出題されます。大問Ⅱは「数学Ⅰ」の範囲から、大問Ⅲは「数学A」の範囲から、どちらも総合的な理解度を問う問題になっています。単に公式を当てはめるだけでなく、関連する問題を解く中で発想力や計算力を問う形になっています。

大問Ⅲは「数学A」の範囲から出題しています。「数学A」では「図形の性質」，「数学Ⅰ」では「場合の数と確率」を出題し、選択できるようにしています。

受験生へのアドバイス

高校数学の基本である「数学Ⅰ・数学A」の教科書において、基本的な問題を中心に試験勉強に取り組んでください。公式を覚え、練習問題や章末問題が自分の力で解けるようになるまで繰り返し学習しましょう。

難易度は教科書の章末問題程度です。教科書をよく理解していれば解答することは難しくありません。ただし、時間内に解くためには筋道を立てて解くことが大切です。

2次関数，放物線，正弦・余弦定理，メネラウスの定理，方べきの定理などに慣れておきましょう。

大問Ⅰは独立した小問から構成されていますので、得意な問題から取りかかるとよいでしょう。マークシートは結果だけで採点されますので、簡単な計算などで間違いをしないように日頃から練習しておくことが大切です。